

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

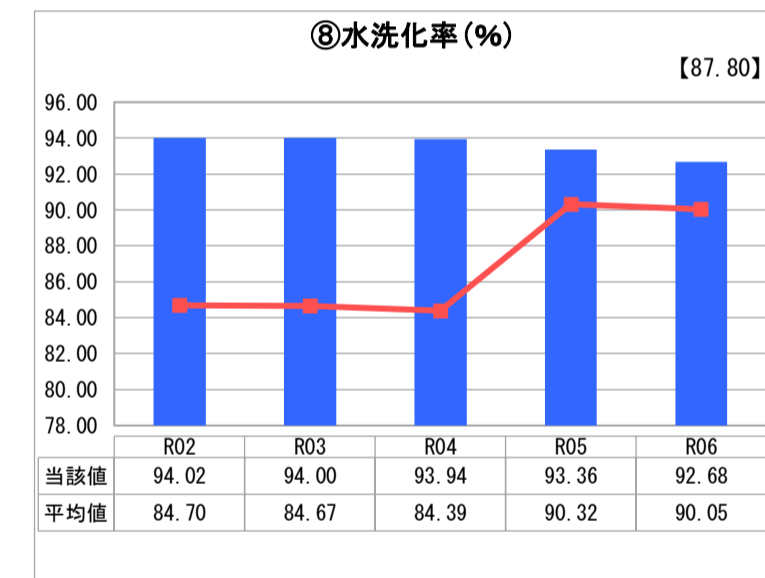
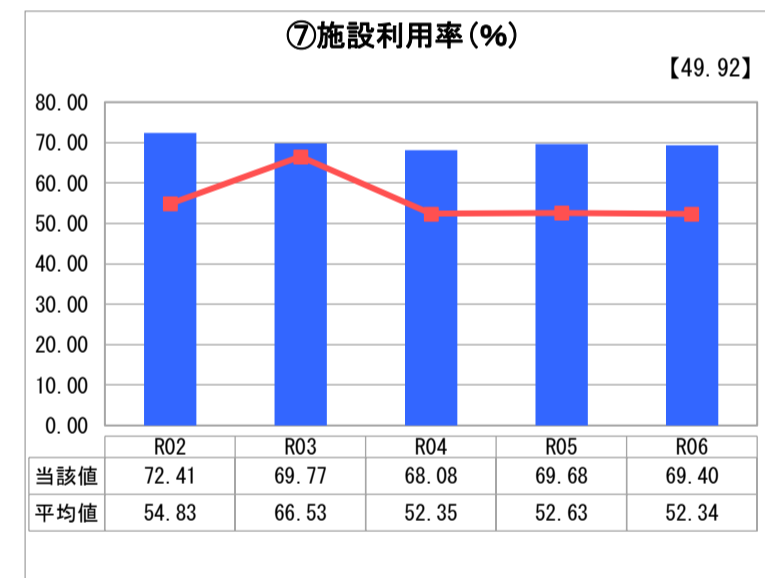
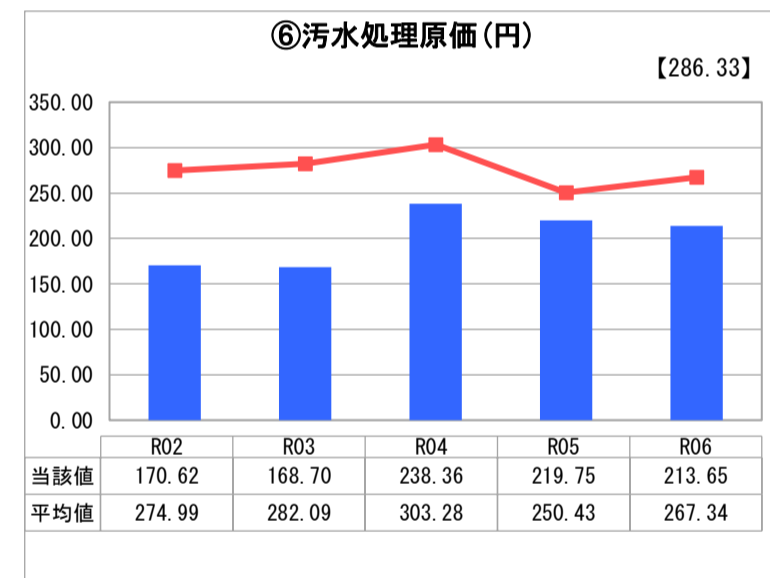
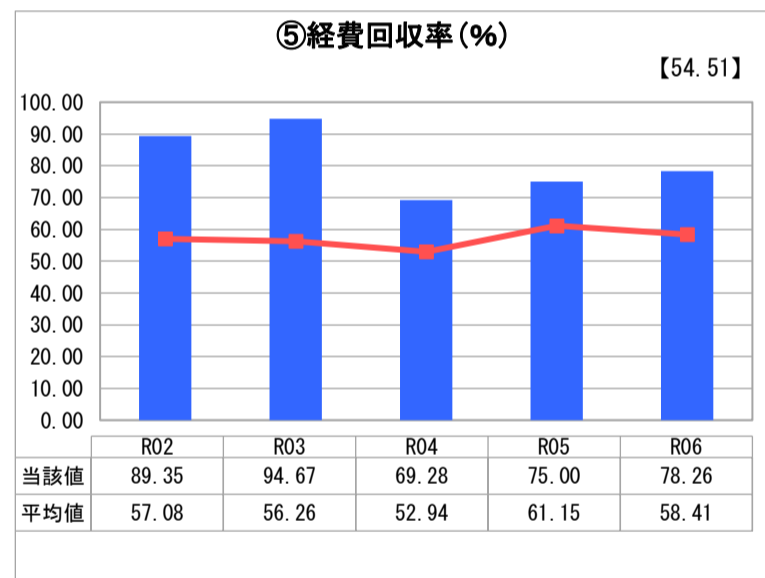
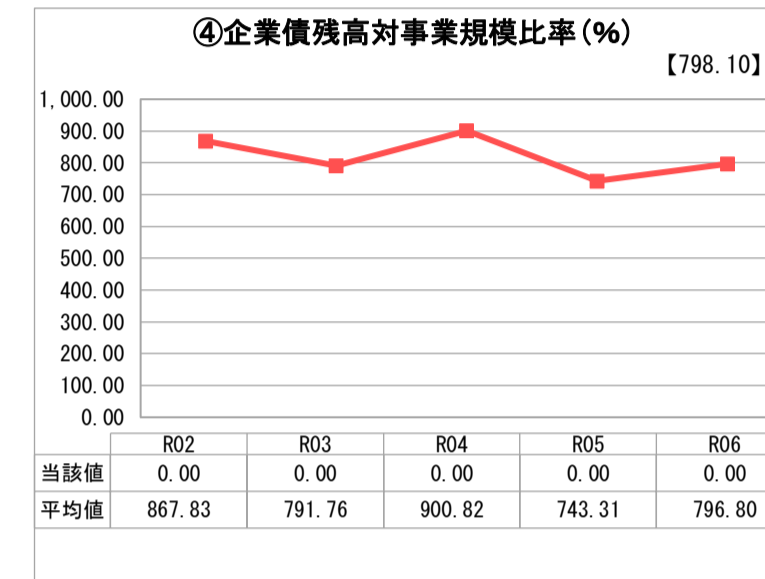
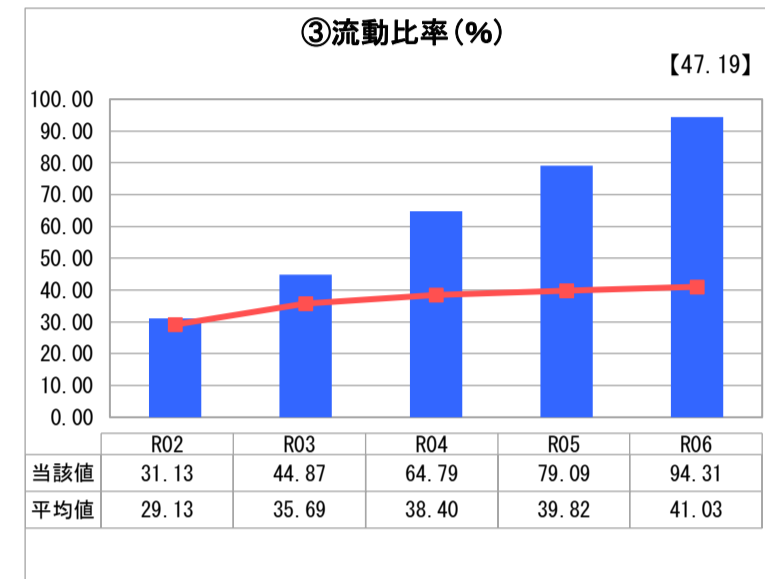
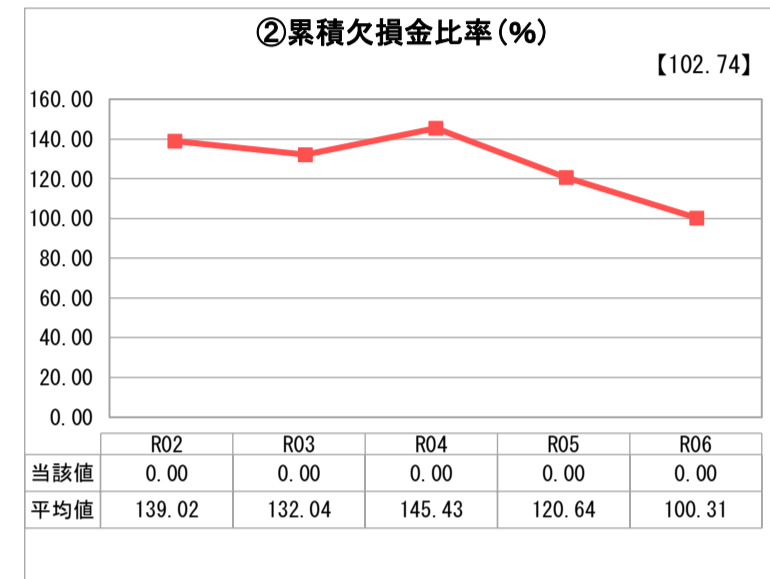
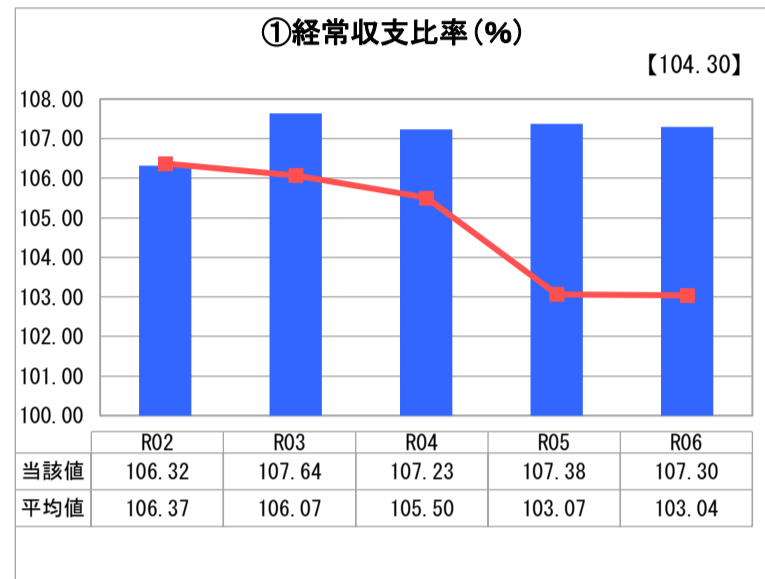
福岡県 筑前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	85.66	8.63	89.99	3,780

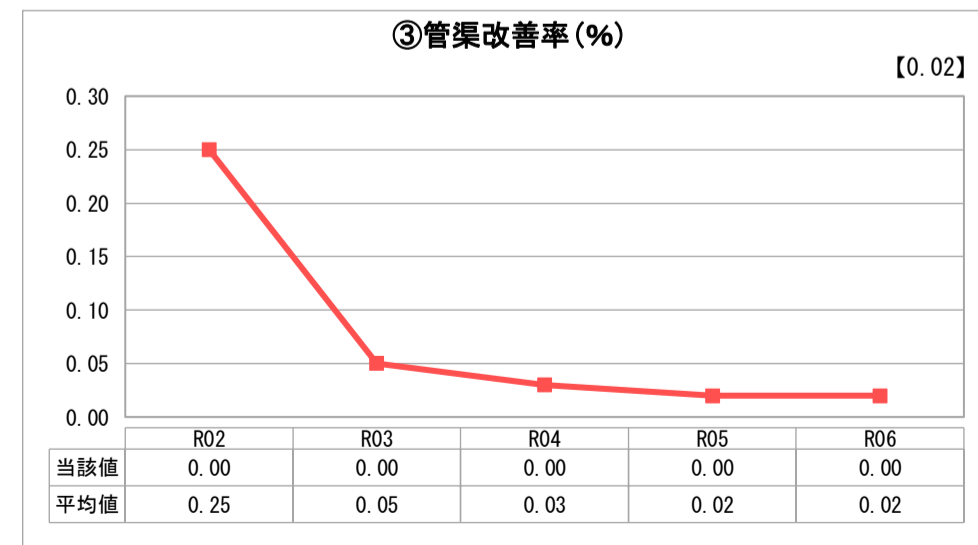
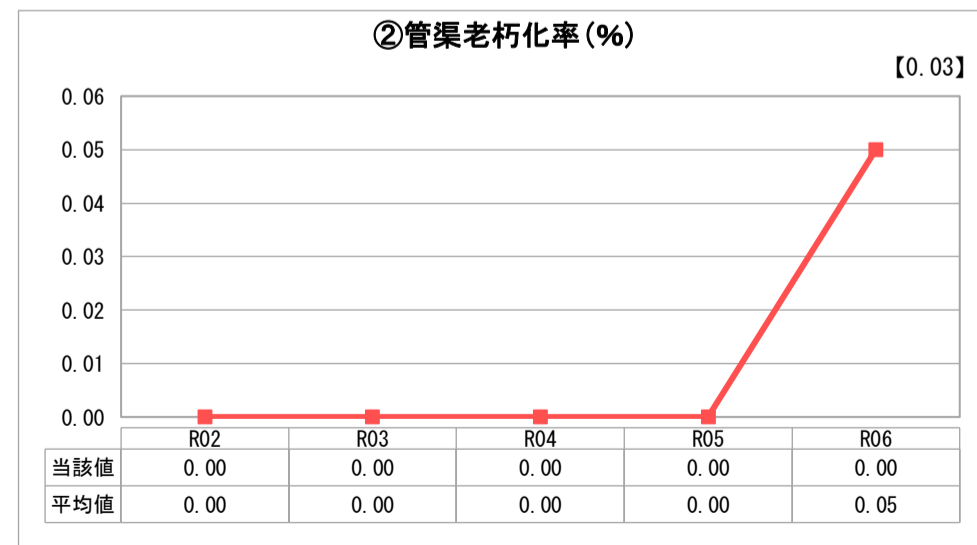
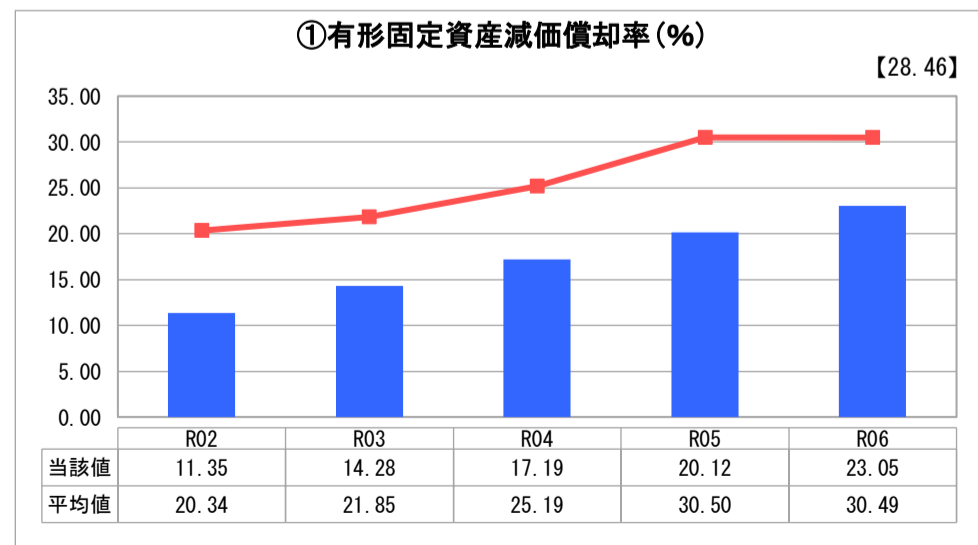
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
30,805	67.10	459.09
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
2,664	1.15	2,316.52

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水は平成5年度及び平成10年度に供用開始しており、現在の普及率は100%となっている。水洗化率はほぼ横ばいとなっており、経常収支比率もほぼ横ばいとなっている。  
農業集落排水創設時の企業債の償還は完了するものが増えてきていることから、今後も流動比率は上昇する見込みである。  
経費回収率や水洗化率などは類似団体と比較すると高い水準となっている。

### 2. 老朽化の状況について

2 処理区（上高場・栗田）に浄化センターを有しており、それぞれにおいて老朽化に伴う機器類の不具合が発生している状況である。そのため、令和11年度を目標に公共下水道への接続を予定している。  
管渠については、概ね塩化ビニル管による施工としており、今後しばらくは大規模な改築更新工事は発生しない。しかし既設マンホール蓋等の経年劣化は進行している為、緊急性の高い箇所から随時補修している。

### 全体総括

施設の都立大規模な工場などは接続を断っていることもあり、現状は水洗化率が横ばいになっているが、公共下水道に接続後は下水道接続が可能となり、水洗化率の上昇を見込んでいる。  
公共下水道に接続することが、浄化センターの老朽化や人材確保への対応になると考えている。  
物価高騰により営業費用が増加しているため、引き続き施設の適正な管理と経費節減に努め、健全な経営を進めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。